

一 般 質 問

6月定例会の一般質問では9名の議員が市政について質問をしました。
質問と答弁の要旨については次のとおりです。

9日(月)		10日(火)	
質問者	質問事項	質問者	質問事項
爪丸裕和	1.行政改革について 民営化問題について 広域行政の見直しについて 2.通学区域の見直しについて	神崎光昭	1.森と海の振興について 2.文化芸術について 3.均衡のある住宅政策について
村田喜代子	1.建物の耐震について 2.環境問題について		古川哲也
中村勇希	1.子ども達全般に関わる施策について 通学区域の弾力化について 学校予算について 通学路の安全確保について 国や郷土を愛する心の教育について 子育て支援について	山本章一郎	
尾家啓介	1.豊前市発注の公共工事について 2.法定外公共物等の譲与申請について		吉永宗彦
宮田精一	1.同和行政・教育における負の遺産の 問題解決について 2.豊前市における社会保障対策について 3.福岡県警の交番・駐在所の再編について 4.農地・農業施設の課税問題について 5.水道行政～老朽管・鉛管布設替えについて		



爪丸裕和議員の質問

1. 行政改革について

議員 地方分権の時代を迎えれば、自治体が自立、自己決定をし、特色ある地域づくりに取り組むことの出来る絶好のチャンスである。そのためには、無駄をなくし採算性を考える民間企業のような経営感覚を持ち、行政改革に取り組まなければならない。本市においても豊前市行政改革大綱に沿って、公立保育所の民営化がなされた。

そこで、「ゴミ収集の民営化について」どのように考えているか。民営化した時のメリット・デメリットについて、どう把握しているか伺いたい。



市長 直営方式では効率が悪く費用がかかり過ぎると指摘があるが、嘱託職員・パート・アルバイト等の有効活用や、人材育成・職員教育等でサービスの向上に努め、市民の視点に立った直営職場を目指したい。

環境課長 デメリットとしては、分別収集が出来にくく、焼却炉を傷めることである。

議員 民間は企業努力を当然やり、出来ないという問題ではない。10年後を考えて検討してみるべきでは。

市長 一番の懸念は、3万市民皆の日常生活のことですから、明日ゴミを取ろうとするときに出来ないことである。検討・研究は、これからはいろんな関係でしていく。

議員 築上郡では市町村合併の話が進んでいるが、広域行政は現在の枠組みでやっていくのか、分担金の見直しを話し合っているのか伺いたい。

市長 民事問題の要素があるので、慎重にしている。法定合併協議会できちんとした方向ができれば、来年から秋以降に協議していきたい。

議員 少子化が進み、市内の中学校の生徒数が少なくなり、分担金の問題からも、吉富町外一市中学校組合についても見直しの時期にきているのではないかと。教育長 豊前市全体の中学校についても見直しの時期に来ていると思う。当然、吉富中学校も、見直しの対象になる。

議員 吉富中学校の校舎はエアコンが完備され、クラブ活動の支援は十分で、市内中学校と比べ、生徒一人当たりの学校教育費が、

あまりにも違うのではないかと。学校教育課長 吉富中学校については、プール・体育館等施設は十分備わっていると思う。部活動は、柔道部等が活発である。クラブ活動の支援は、把握をしていないので、調査して報告する。

2. 通学区域の見直しについて

議員 保護者・生徒のニーズにあつたサービスを提供していくという観点から、全国的に通学区域の見直しがなされている。そこで、伺いたい。通学区域に関する市民要望は、何件寄せられているか。また、要望に対してどのような対応をしているのか。

教育長 年度平均で約20件、主な内容は、新築による住所移転・家庭の事情・友達関係等である。対応は、保護者・学校長の意見を聞き、実情を調査した上で許可している。

議員 通学区域の指定においては、行政区別だけにこだわらず通学距離・通学時間・通学安全に配慮すべきではないのか。今日までのように検討し、今後どのように取り組んでいくのか伺いたい。教育長 昨年度、通学区域見直し庁内検討委員会を設置し、学校を自由に選択出来る事情について、意見具申された。この意見をもとに、今年度、市内各地等より選出した通学区域審議会で協議して頂く。

議員 行政区の隣接している所については、保護者と生徒・児童の立場にたつて配慮してほしい。また、現在通学している生徒・児童や保護者から、転校等の申請があれば認めて欲しい。

村田喜代子議員の質問

1. 建物の耐震について

議員 最近の自然災害の大きさには、今までにない様相を呈しており、文部科学省では、2005年度末までに、全国の公立小・中学校の耐震診断を実施するよう都道府県を通じ自治体に依頼さ

れているそうだが、豊前市では実施したのか。

学校教育課長 建築物の耐震性の確保については、阪神・淡路大震災以降、必要性が強く指摘されているが、福岡県内の大半の公立学校施設は、未だに耐震診断されていない状況である。本市においては、1校でも多く耐震診断を実施できるよう、財務当局と協議を今後進めていきたい。

議員 ある小学校の講堂は、壁のモルタルには大きく割れ目が入ったり、窓ガラスの枠に隙間が大きく開き、棧がゆがんで外れかかっている。本当に悲惨な状況にあるが、災害が起きたらどうするのか。

市長 学校も順次整備してきて残りは少ないので、議員のご指摘として捕らえていきたい。教育長 年次計画で建設する計画であったが、生徒数・予算等の関係で検討中である。しかし、新築が出来なければ、改築・修理等により十分耐震が出来るような大改装の計画も検討している。



建築後40年以上の講堂

2. 環境問題について

議員 「生かせば資源、燃やしてしまえばゴミ」であり、地球の温暖化につながる。そこで何でも燃やすのでなく、樹木を剪定した枝葉は、粉碎してチップを作り、農業の土づくりに生かしたらどうか。

環境課長 チップ製造機は、清掃施設組合等と安くて便利なものを検討中である。

議員 環境問題への市民の理解・協力の方法、生ゴミの減量対策はどのようになっているのか伺いたい。

環境課長 地元区長の要請があれば、夜間などの集会に説明会を開催している。

生ゴミの処理機に補助金を出しているが、なかなか減量化が進まないのが現状である。個人で出来ることは、余分な食品を買わない、生ゴミはよく水を切ってから出すことである。

学校教育課長 環境の世紀とも言われる21世紀においては、環境教育が益々重要になってくる。そこで、学校では、社会科の中で、総合的な学習の時間を活用して様々な活動が学校ごとに工夫されている。

議員 環境家計簿というのがあがるが、その趣旨を豊前市も女性が理解することで、環境破壊の防止

に大きく貢献が出来ていくのでは。豊前市も取り組んだらどうか。

市長 前向きに検討していきたい。

議員 合併浄化槽事業推進について伺いたい。

まず、現在の設置状況は。

環境課長 平成14年度までに5人槽、10人槽合わせて580件の設置をしている。

議員 特定地域生活廃水処理事業の浄化槽の取り組みをしないのか。

環境課長 補助対象事業で採択条件が厳しく、取りまとめ等が困難で、事業実施に踏み切っていないのが現状である。これからも、下水道整備地区にはそれに加入を、他の地域には、今の合併浄化槽を推進していきたい。

議員 平成15年度より条件が随分緩和されているので、よく調べて該当するなら取り組んで欲しい。

特定地域生活排水処理事業

生活排水処理を緊急に促進する必要がある地域において、地域を単位として合併処理浄化槽の計画的な整備を図るため、市町村が主体となって合併処理浄化槽の必要な費用を助成する事業。一定の補助対象要件を満たせば、設置者の負担は軽減される。



中村真希議員の質問

1. 子ども達全般に関わる施策について

議員 これからの学校教育は、児童・生徒の生きる力を育み、個性を伸ばす教育を実践し、各学校においては特色や特徴を出して、学校・家庭・地域が1つになつて子供達の成長を見守り、地域社会でのびのびと活躍できる

環境をつくるのが大事である。

そのような環境づくりの1つとして自由通学制度、つまり学校選択制の導入が考えられるが、現在まで、小・中学校通学区域の弾力化等について検討がなされているか、伺いたい。

教育長 以前から指定された就学校の変更は、保護者や児童・生徒が希望する場合、通学区域の見直しを許可してきた。昨年度は、職員による通学区域見直しの庁

内検討委員会を設置し、学校を選択出来る事情等について検討した。今年度中に豊前市の審議会を設置し、見直し検討する。

議員 今年度より市立の小・中学校の予算が見直しされたようだが、学校施設の改善・備品の整備等の教育環境整備についての年次計画は立てているのか。また、近隣市町村と比べて生徒一人当たりの学校教育予算額は、多いのか、少ないのか、伺いたい。

学校教育課長 施設は、身体障害者のためには必要に応じて適正に改善している。屋根及び外壁の防水改修等は、財政負担も大きいので年次計画を策定し財政当局と協議の上実施していきたい。備品は、各学校の要求に基づき、予算措置されたものより整備している。

学校教育予算額は、少ない。予算を効率的に執行することは勿論のこと、近隣市町村並に予算措置されるよう、今後財務当局と協議していきたい。

議員 国道10号線の4車線化に伴い、横断する児童・生徒の通学路は安全確保がなされているか伺いたい。

学校教育課長 児童・生徒の登校時の安全確保指導は、各学校において地域の実情に合わせて

取り組んでいる。

建設課長 犀川・豊前線等の県道は歩道の拡幅等をお願いしている。国道は、今後協議していく。

議員 これまでの学校現場では、国や郷土を愛する心・伝統文化の尊重や社会の形成に主体的に参加する公共心の育成などの価値観は、ないがしるろにされてきた。国のやることをことさら強制、不当な支配と位置付け、教育基本法10条の教育は支配に屈してはならないとの規定が曲解された結果でもある。公立学校の秩序荒廃の一因に、国家を敵視する価値観があった点は見逃せない。

そこで、国や郷土を愛する心の教育について伺いたい。
具体的な学習は行われているのか。昨年度より道徳教育の副教材として心のノートが発行されたが、市内の小・中学校の道徳教育の現場で、どのように活用しているのか。

教育長 議員ご指摘の通り、新しい時代にふさわしい教育基本法と教育振興基本計画のあり方について答申されている。

学校では、主として道徳の時間において、郷土や我が国の文化や伝統を大切に、先人の努力を知り、郷土や国を愛する心を持つように学習している。教

育委員会は、以上の学習が適切に行われているか把握するとともに、指導している。

心のノートは、全小・中学生に配布した。各学校では、活用のための指導資料に基づき、各学年で指導する徳目に絡めて考え方を深めたり、意欲を高めたりする上で、書き込み用の補助教材として使用している。

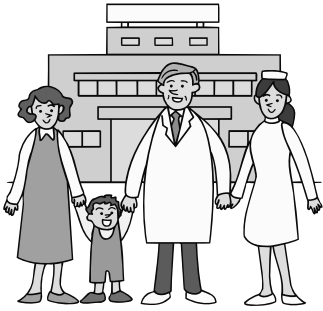
議員 豊前市の乳幼児医療無料化制度のシステムは、現在どのようなになっているか。

市長 3歳未満が対象である。議員 昨年、一昨年の市が負担した乳幼児医療費の給付額はいくらか。

市長 平成13年度は2232万円、14年度は2593万円である。

議員 財政負担の問題もあるが、子育て支援のためにも、就学前までを無料化できないか。

市長 県と一緒に考えて対策・対応していきたい。



尾家啓介議員の質問

1. 豊前市発注の公共工事について

議員 入札及び契約の透明性を求めた予定価格の事前公表は、一定の効果をあげた。

なお一層の透明性をあげるため、最低制限価格を事前公表し、制限付きの一般競争入札の制度を採用したかどうか。

助役 制限付き一般競争入札制度は、入札の公告から執行までの手続きが煩雑で、国の基準で50日相当要することが、今後の課題である。

最低制限価格の事前公表は、県下の他市においても導入している状況であるので、前向きに検討していきたい。

議員 適正化法を執行するに当たっての指針の中で、不良・不適格業者とはどういうものか。

財務課長 1つが、技術力・施工能力を全く有していない、いわゆるペーパーカンパニーである。次に、経営を暴力団が支配している企業。それから、対象工事の規模や必要とされる技術力から見て、適切な施工が行い得ない企業。最後に、過大発注により、適切な施工を行い得ない企業。

以上4項目に該当する業者である。

議員 不良・不適格業者の排除、談合の排除のため、即時に出来る最低制限価格の事前公表に踏み切るべきでは。

助役 どの自治体も、公共工事の透明性と改善を求め、色々模索している。本市も、市民に疑問をもたれないような入札制度への改善に努めたい。

議員 最低制限価格の事前公表はすぐ出来るのか、1・2ヶ月準備が要するのか、伺いたい。

財務課長 法的にも条例的にも、数字の幅が大体決まっているので、その範囲であれば理論的にはすぐに出来る内容になっている。

2. 法定外公共物等の贈与申請について

議員 法定外公共物等の贈与申請の調査内容と、作業の進捗状況を伺いたい。

助役 調査内容は、国土調査図や資料等の複写、無番地の長狭物・里道・水路の拾い出し、国土交通省所有地及び市道認定路線等を抽出し、特定図面並びに一覧表を作成し、贈与申請までの業務である。

進捗状況は、字図のデータ入力、調査図の照合、無地番の長狭物の抽出、指導路線の確認作業まで終了している。

申請は、平成15年度に市全体の50%を予定し、残りは16年度に申請を終了したい。

議員 贈与を受ける法定公共物の上に、既得の権利がついている物件があれば、内容の説明と今後の方針について伺いたい。

助役 現在、特定作業の途中であり、どの物件に、どのような既得権がついているか調査していない。もし、そういう物件があれば調整を行い解決したいと考えている。

議員 県と交渉する際には1年位すぐに経過する。既得権がついている物件は、早めに申請しないと期限切れで県から押しきられるので、十分注意を。

建設課長 十分調査し、早めに贈与申請する。

法定外公共物
国道、県道、市町村道でもない道路(里道)や、1級、2級、準用河川でない河川(水路)などである。



統合される駐在所

宮田精一 議員の質問

1. 同和行政・教育における負の遺産の問題解決について

議員 福岡県同和教育研究協議会への、県教員の派遣について、福岡地裁の一審で違法の判決が出た。福岡県教育委員会は、県同協への教諭の派遣研修事業を廃止した。このことについてどう思うか。

市長 まだ、控訴係争中なのでコメントは差し控えてさせて頂く。

議員 住宅新築資金の滞納については、以前から法的な手段を含めて回収を図るべきではと質問し、今後検討していくという答弁だったが、現在、法的な回収

をとっているのか伺いたい。人権課長 本年度の予算で法的手段が取れるようにしている。

2. 豊前市における社会保障対策について

議員 高額医療費制度の対象者は何人か。そのうち超過分の払い戻し申請書を提出した人は何人か。市民健康課長 5358人である。高額医療費当者は、約9割以上の方が申請している。

議員 高額医療費制度を周知徹底して欲しい。

次に、国保の短期保険証・資格証明書の発行時まで、特別の事情等の届出書が送付されてい

るか、弁明書の送付・弁明の機会を与えているか、伺いたい。

市民健康課長 国保税の納付期限から、一年以上経過しても納付していない世帯主に対して、資格証明書を交付している。

送付書類の順序は、予告通知書を納付期限3ヶ月前に送付し、弁明通知書については、納付期限2ヶ月前に郵送している。被保険者証返還請求通知書は、納付期限1ヶ月前に郵送している。通知を出したが、来庁されない方については、資格証明書を送付している。

3. 福岡県警の交番・駐在所の再編について

議員 福岡県警が、安全で安心できる地域づくりとして交番・駐在所の再編計画を打ち出したが、治安の面で不安があるので、執行部の考えを伺いたい。

総務課長 市民生活の不安解消のために、警戒の充実・強化、廃止駐在所等については警官立ち寄り所として有効活用できないか、関係機関と協議していきたい。

4. 農地・農業施設の課税問題について

議員 市町村の市街化区域にある農地に関わる重税が問題になっている。豊前市における市街化区域農地・農業施設用地の固定資産税の課税状況はどうなっているか。

税務課長 豊前市においては、都市計画法上の市街化区域の設定がなされていないため、一般農地として課税されている。また、農業施設用地は、農地に必要な経費を加算し、評価額にしている。議員 今後、市街化区域の設定される可能性はあるのか。

税務課長 今のところ市街化区域の線引きの予定は無い。

5. 水道行政・老朽管・鉛管布設替えについて

議員 新聞等で、北九州市の水道管破損事故が相次いで報道されているが、豊前市において老朽管及び健康への悪影響が心配される鉛管はどの程度あるのか。布設替えの計画はあるのか、伺いたい。

上下水道課長 豊前市の施工では鉛管の布設は無い。老朽管の布設替えについては、計画的に実施し、経費を少なくするため、下水道及び道路拡幅等と並行して施工している。

神崎光昭議員の質問

1. 森と海の振興について

議員 豊かな文化と活力に満ちた、緑あふれる産業都市を目指すということで、森と海の振興係を設置したことは言葉も優しいし、市民にわかり安く、振興が期待出来る。

そこで、お尋ねしたい。豊前市の林業整備計画があるが、現在の実施状況は。

農林水産課長 第4次総合計画・森林整備計画・市有林整備計画に基づき、平成14年度は、新植15件、下刈り・間伐80件、作業道2件、鹿ネット設置6件である。15年度もほぼ同様の計画である。

議員 緊急雇用対策として国より補助金がきているが、どのような取り組みをしているのか。また、今後の予定は。

農林水産課長 岩屋・杉ヶ谷林道等6箇所、草刈・側溝の掃除等延長3072m、延べ日数194人役を豊築森林組合に業務委託した。今年度も同等の計画をしている。

議員 犬ヶ岳登山口の遊歩道の整備状況は。

商工観光課長 現状の自然を保護しながら整備するのが原則で

ある。県の委託事業により、手作業で草刈等を行い、現状での利用が十分に可能である。

議員 沓川と松江海岸は、貝堀シーズンにはレジャー客で溢れかえっている。そこで、駐車場を兼ねた多目的広場を作ったらどうか。

農林水産課長 進入道路等の整備を含めて、維持管理上の問題、経費、財源の問題、地元住民の協力等を整備した上で、関係機関と検討したい。

議員 漁業従事者の高齢化が進み、本腰を入れて、獲る漁業から育てる漁業への支援が必要ではないのか。

農林水産課長 クルマエビ・ガザミノシエビの放流事業、ナマコ・コチの試験放流の助成、豊前海一粒カキのブランド化等、つくり育てる漁業の成果が上がっている。今後とも、関係機関と連携強化し、豊前海の環境に即した魚介類の放流・養殖事業を積極的に推進していく。

2. 文化芸術について

議員 以前、芸能殿の建設について、議会の一般質問をした時は、次回のイベントまでに建設すると答弁したが、次回までに間に合うように建設するのか。

市長 来年では遅いので、新高校の建設後の行方、市町村合併の行方等を含めながら、近々方針を出す。

議員 文化芸術費の補助金等がかなり計上されているが、支給基準・支払基準はあるのか。

社会教育課長 地域の伝統芸能の継承、発展に対して支援出来るものという観点の中から、助成金の基準を決めている。

3. 均衡のある住宅政策について

議員 これだけ少子化が進めば、中山間地域はおそらく崩壊してしまうのではないか。これを回避するためには、行政の力による住宅政策以外にないと思う。そこで、市長の施策を伺いたい。

市長 ほ場整備等で生み出した土地を、住宅分譲地として売り出させるよう研究と作業を進めている。

議員 豊前市は、東の山は岩が非常に多いが、西側の山は丘陵



庁内LANシステム

古川哲也議員の質問

1. 「違法広告物撤去について」のその後について

議員 違法看板を5月と11月に一斉撤去することであったが、その結果と、今後の対応を伺いたい。

都市計画課長 昨年は、2回484件除去した。本年度は、6月18日から職員6名体制で8日間除去の計画をたてている。事前に調査した結果、違法看板は108件である。今後は、状況をみながら一定の目立つ段階で除去していきたい。



多く、開発が可能ではないか。

市長 既に、開発されている場所もある。出来れば、地域の皆の共感を得る住宅、市街地に近いので里山と位置付けながら町の人が入り得るような形を考えた。



子どもミュージカル

議員 市内全域の広い範囲を職員数名で、撤去、監視は難しいのでは。民間との協力を考えていないのか。

都市計画課長 現在、警察署・九州電力・国土交通省北九州工事事務所・土木事務所に協力の依頼をし、応援を頂いている。

簡易除去に当たっても、県から身分証明書の発行が必要であるので、市民の協力はどのようになれば効果上がるか研究したい。

議員 まだ、撤去が出来てない所が見受けられる。市民の協力を得て、また、広報活動に力を入れれば、業者が違法看板等を付け難くなるのでは。

都市計画課長 どこに設置されていると通報をもらえば、確実に除去できるので協力願いたい。

2. 庁内LANのセキュリティについて

議員 8月以後の住基ネット本格稼働後には、現在ある庁内LANと接続するの伺いたい。

市民健康課長 本市は、住基ネットと庁内LANは別回線であり、技術的にも問題なく、接続する計画は無い。

議員 住基ネットセキュリティ

規約を策定しているか。もし、策定していないのなら、必要性をどう考えているのか。

財務課長 住民基本台帳ネットワークシステムの規則を制定し、管理規定をつくっている。何か問題があったら、何時でも対応出来る形のセキュリティ体制をとっている。

議員 外部からの傍受等に、庁内の無線LANのセキュリティは、確保されているか。

情報処理係長 パソコンとフロアのアクセスポイントの間が無線であるが、暗号化をかけており大丈夫。

財務課長 国から指示が出ており、それに沿ってセキュリティ・管理を実施していく。

3. 図書館の現状と今後について

議員 豊前市に図書館が出来て随分経過しているが、設備としては不十分であると思う。そこで、建物の増築、建替え、または移転を考えているか、伺いたい。

市長 現状のままで良いとは思っていない。市町村合併、高校の跡地利用等を考え、移転をし、まちづくり等に寄与したい。また、蔵書は6、7万ぐらい必要と考える。



ほ場整備で創設された住宅用地

議員 ここ数年の利用者数、貸し出し冊数、書庫数は、また、隣接する閉架室の状況はどうなっているか。

社会教育課長 14年度は、利用者数は本館2万3103人、移動図書館1万1013人、合計3万4016人であり、貸し出し数は、本館1万1502冊、移動図書館1万8477冊、雑誌類4532冊、合計12万4511冊である。

閉架部分の利用状況は、統計を取っていないのでわからないが、学校や福祉施設などの団体に可能な限り貸し出ししている。

山本章一 議員の質問

1. 市町村合併について

議員 豊築は1つという観点から、豊前・築上の枠組みで合併が可能であるか。この枠組みで誕生する新市の姿をどのようにイメージしているか。また、県境の地であるこの地域での新市の役割をどう考えているか。

市長 市町村合併に向けて、1年余活動してきたが、まだ成果が上がっていない。議会において特別委員会の設置を頂き、これからも議員の皆様と共にがんばっていききたい。

豊築は1つなりの1万6000名の署名結果を見れば、合併は可能である。

非常に発展の可能性のある北九州から宇佐までの、ど真中に位置し、胸を張っていく、それに新しい市の姿があると思う。

10年後には新しい道州制やブロック制も起こると思う。その時に、胸を張って福岡県豊前市はどうするのかという事に取り組み、これが県境の地方自治体豊前市の使命である。

議員 新市誕生までの手段に住民発議があるが、議員も参加出来るのか。

市政活性課長 住民発議の請求代表者となる資格要件は、市町村の議会の議員及び市町村の選挙権を有者となっているので、出来る。

議員 合併の枠組みで、財政計画を策定しているのか。市政活性課長 国が三位一体の改革をやる状況では、何%の交付税カットがあるのかわからないので、人件費・投資的経費等の削減の計算が出来ない。

議員 残された時間もないので、協議準備のため、色々なデータ収集が必要ではないか。

市長 議会の特別委員会が出来

たし、それに向かって準備していかねばと思う。

2. 横武小学校校区内の住宅建設について

議員 現在、ほ場整備の住環境整備事業の中で、横武校区に住宅用地を生み出しているが、今後、住宅建設計画をどう進めていくのか伺いたい。

助役 財政事情等を勘案しながら、当該地を住宅地としてどのように活用するか検討した結果、生活用水等を確保整備し、分譲地として処分したい。

議員 下水については、1箇所は農業集落排水につき込める。もう一方はどうするのか。

助役 大型の合併浄化槽か、20人以上の規模の浄化槽にするのか、検討したい。

議員 土地を分譲しても、入居する人、住んでみたい人はなかなか見つからないと思う。

そこで、農業公社・農業法人を作り、イチゴ・バラの栽培をし、働く場所を提供すれば、全国から人が集まってくるのでは。

助役 素晴らしい提案だと思う。公的な受け皿を作るといっても、1つの方法である。

吉永宗彦議員の質問

1. 入札制度改善の状況について

議員 三月議会以後、入札制度の改善に向けて内部検討した内容を説明願いたい。

財務課長 現場説明会の廃止、一度請け負った建設工事等を他の業者に請け負わせる場合は相指名業者の中から出来ないうちに、以上2点を、今検討している。

議員 今後、どういう入札制度を採用していくか伺いたい。

財務課長 入札制度は、指名競争・一般競争・混合型・プロポーザル技術提案型、或いはJ・Vとか色々あり、どれがいいのか各市町村とも苦慮しているところである。

1つの方向として、談合のしにくい入札制度への改革が考えられている。

議員 最低制限価格を設定すれば、基本的に発注価格を下げる事が出来るのではないか。

助役 今、担当で検討している。ただ、工事の難易度等色々条件があるので、すべてに最低制限価格の導入は難しい。

議員 市の財政に一定程度の節減をもたらし、早急に談合のしにくい新しい制度の確立をお願いしたい。

市長 議員指摘の通り新しい制度を確立させたい。

2. 市民の個人情報は保護されますか。

議員 個人情報必ず守りとおすという観点から、全庁的に日常業務を総点検する必要があるのでは。

また、豊前市において個人情報保護条例の制定が必要ではないか。総務課長 研修の機会を通じて、職員の倫理感を高め、日常業務を洗い直していく必要がある。

個人情報保護条例は、先進地事例等を参考に素案は出来ているが、多くの皆さんの点検や助言、指導を頂き、9月議会を目標に制定したい。

議員 防衛庁が自衛官募集のために全国の自治体から情報提供として、年齢層リストを集めていたが、豊前市はどう対応してきたか伺いたい。

総務課長 リストの提供という形は採っていない。但し、閲覧という行為については制限していない。

